

切れ目のない放送：Infotrend のユニファイドストレージは WQED-テレビ放送局の効率を向上

顧客

米国 WQED

課題

- データの増大が既存のストレージを満杯にする
- 顧客の古いストレージではスループット性能が不足し、ビデオ再生でコマ落ちが発生したり、プロジェクトの遅延が生じたりする
- 古いストレージのため、多大な IT 保守作業が必要となる

ソリューション

EonStor GS 4060 Gen2 ユニファイドストレージが、エンコーダサーバーと 14 台の高性能ワークステーションに接続されています。このソリューションは、次の機能が提供されます：

- 1PB のストレージ容量
- 編集、再生、エンコーディングなどの M&E 業務が円滑に行える読み取り 10GB/s、書き込み 5.5GB/s の速度
- 高可用性、簡単な管理、少ない保守作業

「ここ数年 Infotrend を使っているので、既存の放送用ストレージを Infotrend のソリューションにアップグレードするのは、当然の選択です。Infotrend のストレージソリューションの安定性と価格に非常に満足しているからです。」と WQED の技術担当執行役員の Paul Byers は述べています。

「Infotrend とは 10 年以上協力していますが、顧客からの反応は一貫してポジティブです。」と Intelligent Technology の CEO Abraham Rizk は述べています。

1954 年にペンシルベニア州ピッツバーグに設立された WQED は、公共メディアと放送に特化した有名な米国の企業です。米国における最初の地域テレビ局の一つで、教育、文化、娯楽番組の大手製作者に成長しました。WQED は、高度な基盤に適合し、M&E ポストプロダクションが必要とする性能を得るために、時代遅れのストレージを高可用性ソリューションに交換することを目指していました。

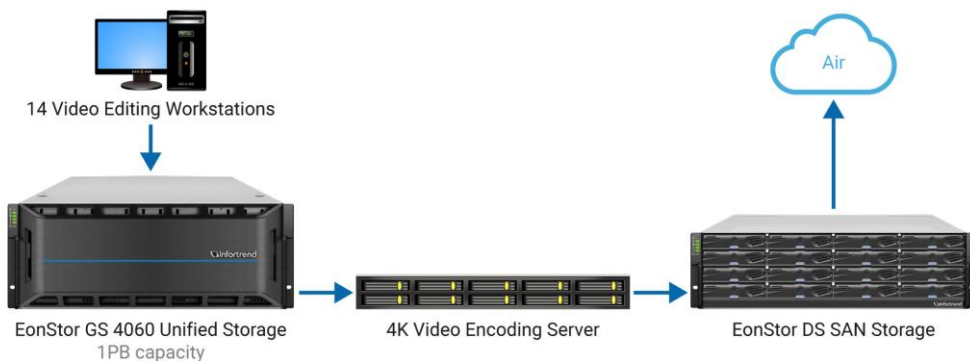
課題と要件

既存のストレージソリューションは、WQED テレビ放送局の必要を満たしていませんでした。増加する作品を収納するのに十分な容量を備えていません。また、M&E ポストプロダクション業務に必要なスループットも備えていません。そのため、ビデオの再生でコマ飛びが発生してビデオの処理、編集、エンコードが時間通りに行えず、プロジェクトに遅れが生じました。更に、この時代遅れのストレージは、保守に手間がかかり、IT サポート部門が余計な時間とコストを費やす原因となりました。

ソリューション：Intel® Xeon® D CPU を搭載し、100GbE 環境に適合した EonStor GS 4060

Infotrend のパートナーである Intelligent Technology は、WQED のために 4 ポートの 25GbE を搭載した EonStor GS 4060 Gen2 ユニファイドストレージへのアップグレードを提案しました。そして、エンコーダサーバーと Adobe Creative Cloud が稼働する Intel® Xeon® Gold 5416S を搭載した 14 台の高性能ワークステーションと組み合わせました。このストレージソリューションは、4U の筐体に 1PB のストレージ容量を搭載し、最大 10GB/s の読み取りスループットと 5.5GB/s の書き込みスループットで、ビデオ編集、再生、エンコーディングなどの M&E 業務が円滑に行えます。

Network Topology for Post-Production and TV Broadcasting



Infotrend を選択する理由

- 適切な価格で驚異的な性能と 1PB の容量を提供
- ビデオ資産の増加に追従できる簡単な拡張性
- ダウンタイムを短縮する高可用性設計
- ハードウェア保守に便利なモジュラー設計
- 優れた経験が得られる Infotrend ストレージ製品

WQED テレビについて

WQED テレビは、米国における最初の地域テレビ局の一つです。ペンシルベニア州ピッツバーグにあり、教育と文化番組の作成について豊富な歴史を持っています。詳細については、同社の website <https://www.wqed.org> でご確認ください